

アセスメントプラン

1 目的

アセスメントプランの目的は、本学の教育活動にかかる検証や改善・向上を進め、学修者本位の教育の実現をめざすとともに、組織的に教育活動の内部質保証やFD・SD活動に活用することとする。

2 評価時期

評価を行う時期については、3ポリシー（AP・CP・DP）の改善につなげるため、入学時、在学中及び卒業時とする。

3 評価主体

評価主体については、3ポリシーの改善のほか、学修成果の学生へのフィードバックを視野に、大学レベル（全学）、組織レベル（教育課程）、教員レベル（科目）及び学修者レベルとする。

4 実施責任部署

実施責任部署については、大学レベル（全学）は教育改革推進室、組織レベル（教育課程）は国際政策学部及び人間福祉学部の各学科並びに看護学部、教員レベル（科目）は担当教員とする。

5 評価指標の考え方

評価主体ごとの評価指標の考え方は、次のとおりである。

(1) 大学レベル（全学）

全学的な観点から各指標を総合的に分析し、3つの方針の整合性を点検するなどして、学修成果・教育成果の総括的な検証を行うことができるよう指標を設定する。

(2) 組織レベル（教育課程）

各学部・学科の3つの方針を基に、共通となる指標を設定する。

(3) 教員レベル（科目）

DPとの整合性を念頭に、授業の質向上や学修成果の向上を図るための指標を設定する。

(4) 学修者レベル

フィードバックされたデータをもとに、学修成果を振り返るための指標を設定する。

6 実施方法

評価主体ごとに、入学時、在学中、卒業時など適切な時期に評価指標についてモニタリング及び評価を行う。

7 活用方法

アセスメントの結果は、本学において、授業方法やカリキュラムの改善、学習支援や学習環境の充実、学生へのフィードバック、自己点検・評価、情報公開に活用するとともに、フィードバックされた情報については、学生が自らの学修成果の把握に活用する。

8 評価指標

評価時期	入学時	在学中	卒業時
評価主体			
大学レベル（全学）	各種入学試験結果 入学生アンケート	GPA 分布状況 DP 到達度自己評価 学生生活実態調査 全国学生調査 休学・退学（除籍）率	卒業者数、卒業率 就職者数、就職率 進学者数、進学率 資格取得率 国家試験合格実績 卒業生アンケート
組織レベル（教育課程）	各種入学試験結果 英語等プレイスメントテスト DP 到達度自己評価 入学生アンケート	GPA 分布状況 成績分布状況 休学・退学（除籍）率 単位修得率 科目別合格率 各種検定試験の結果 DP 到達度自己評価 授業アンケート	卒業者数、卒業率 就職者数、就職率 進学者数、進学率 資格取得率 国家試験合格実績 卒業生アンケート DP 到達度自己評価
教員レベル（科目）	—	成績分布状況 科目合格率 授業アンケート 学修ポートフォリオ	—
学修者レベル	—	GPA DP 到達度自己評価 学修ポートフォリオ	GPA DP 到達度自己評価 学修ポートフォリオ

9 留意事項

上記の4つのレベルにおける評価の実施については、それぞれの実施責任部署において不断に検証する。また、アセスメントプランを含む全学的な取組については、外部評価によって検証・評価されるものとする。